

【実施体制】

名古屋大学は、平成14(2002)年度に全国の大学に先駆けて男女共同参画室を設置して以降、全学的に男女共同参画、ジェンダー平等を推進してきた。本学は、これを最も重要な事業の一つと位置づけ、男女共同参画・多様性担当副総長、男女共同参画部会、男女共同参画センター（令和4(2022)年にジェンダーダイバーシティセンターへ改称）、各部局における男女共同参画委員会、及び総務部人事労務課が有機的に連携しながら、女性活躍推進に資する先進的な施策を実施してきた。本プログラムにおいても、この男女共同参画推進組織が実施体制となる。

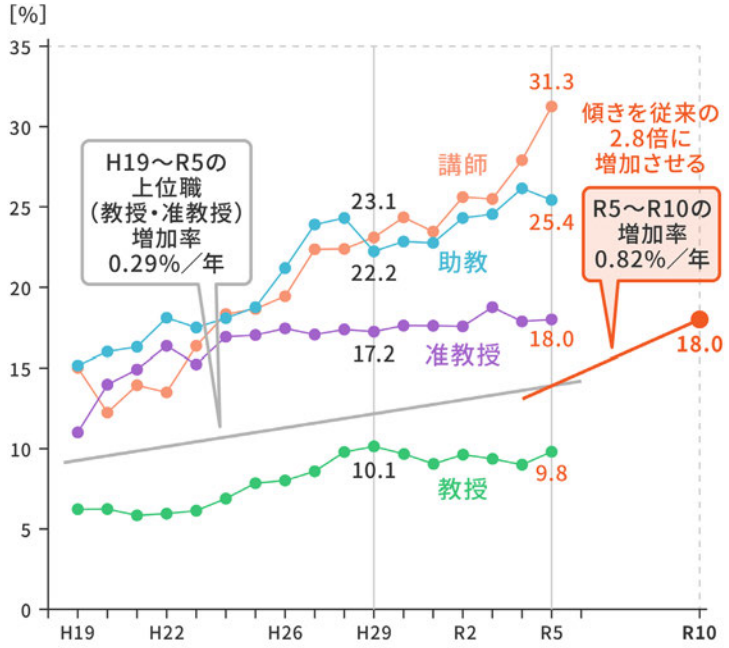
【特長】 RDPプログラム：「支える」(Retention)・「伸ばす」(Development)・「昇進させる」(Promotion)

- R: ダイバーシティ研究環境整備** (ワーク・ライフ・バランス実践コミュニティの形成等)
- D: 女性研究者の研究力向上+リーダー育成** (研究費支援・研究支援員雇用費補助・シェア秘書システム等)
- P: 女性上位職の積極登用のための意識改革** (無意識のバイアス研修プログラム・教員採用マニュアルの活用等)

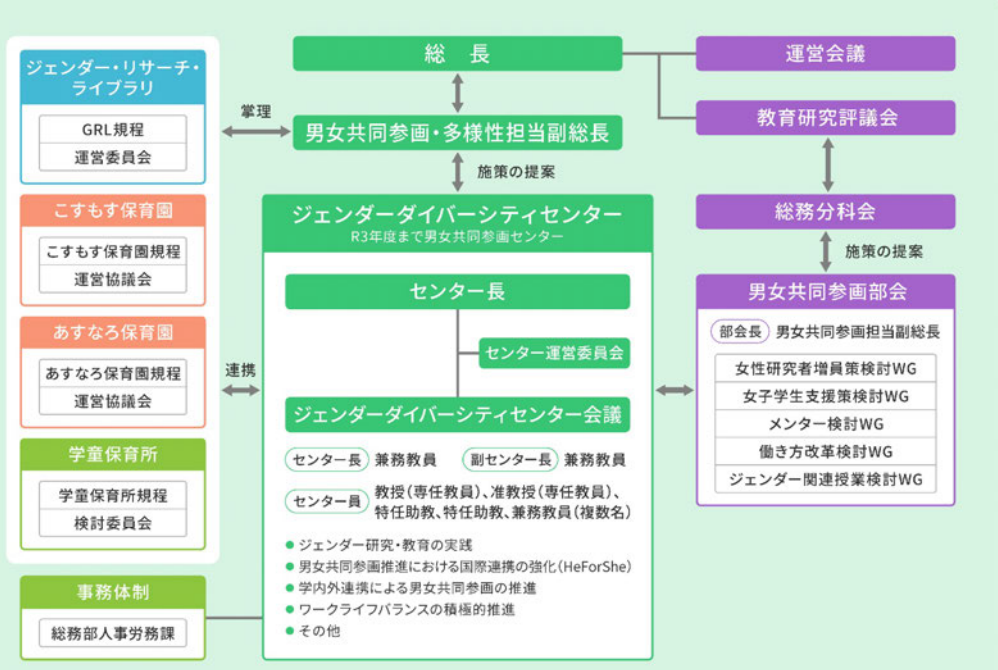


【取組概要(目標)】

- 目標①: 女性教員在職比率を25%以上へ
- 目標②: 教授・准教授における女性在職比率を18%以上へ



【体制の概要】



【支援内容】

R ダイバーシティ研究環境整備

- 子育て単身赴任ネットワークの強化
- ケア支援のための「ダイバーシティ・シェアハウス」設置
- 学内保育園、学内学童保育所の運営、育児休業分割取得、育児休暇期間中の代替要員制度、病児・病後児保育、ベビーシッター割引、大学入学共通テスト実施日の保育支援等



D 女性研究者の研究力向上 + リーダー育成

- 女性新任教員や、特に優秀な女性研究者の上位職昇格に伴う研究費支援
- 研究支援員雇用経費補助
- 「シェア秘書システム」の全学への拡大
- 研究者リーダーシッププログラム
- 女性研究者トップリーダー顕彰
- 学術雑誌投稿論文の英文校閲費用助成
- 女子学生へのIT教育、女子中高生への理系進学推進セミナー

P 女性上位職積極登用のための 意識改革

- 無意識のバイアス研修プログラム
- 教員採用マニュアル
- 女性研究者増員策

女性教員在職比率を25%以上へ
教授・准教授の女性在職比率を
18%以上へ

【広報関係】

- 全国の大学における女性活躍推進のフロントランナーとして女性研究者を育成、支援し、2015年には、**UN Women により世界の主要10大学**に選出されるなど、世界的な高評価を獲得。
- 2018年には、「LGBT等フレンドリー宣言」、および「個人の尊厳を守り多様な個性を尊重する名古屋大学基本宣言」を発出し、**男女共同参画事業を含めた多様性推進を最重要課題の一つ**と位置づけた。
- 2020年度には、国立大学法人東海国立大学機構の設立に伴い、男女共同参画推進専門委員会が発展的に改組され、教育研究評議会総務分科会の下部に新たに男女共同参画部会を組織し、さらにその下部に5つのワーキンググループ（女性研究者増員策検討、働き方改革、女子学生支援策検討、ジェンダー関連授業検討、メンター検討）を設け、それぞれの施策を強化。
- 2022年には、東海国立大学機構として岐阜大学と共に「**ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング推進宣言（DEIB宣言）**」を制定し、多様性（Diversity）、公正性（Equity）、包摂性（Inclusion）を推進することにより、全ての多様な構成員が確かな帰属感（Belonging）を持ちうる組織となることを目指している。

【お問合せ】

機関名：国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学

所在地：愛知県名古屋市千種区不老町

連絡先：ジェンダーダイバーシティセンター kyodo-sankaku@t.mail.nagoya-u.ac.jp

H P : <https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>